

公益財団法人 日本測量調査技術協会 平成 26 年度事業計画

地理空間情報活用社会の実現のために「先端測量技術」が果たす役割は、大きなものと期待されています。デジタルセンサによるデータ取得技術、位置精度を確保した処理・加工技術、空間解析や表現技術、地理情報標準による品質確保と流通、ITC との連携による利活用の促進と新たなサービスの創出等様々に貢献しています。

さらに、ビックデータやオープンデータ戦略の動向、位置情報サービスの新たな展開、AR・VR等のコンピュータ技術の進展、ハザードマップ等による防災・減災への取り組み、インフラ維持管理等、我々を取り巻く社会情勢の変化や技術革新、多様なニーズに、迅速に対応していかなければなりません。

このような背景を踏まえて、当協会は、公益財団法人として掲げた公益目的事業の技術研究、技術普及、地理情報の標準化、地理情報標準資格認定制度の運営及び成果検定事業の一層の充実を図り、わが国の測量調査技術の高度化、地理空間情報の利用促進、測量成果の品質向上に資するとともに国土の開発・管理・保全及び国民の安全・安心の確保に寄与することを目的として事業に取り組んでまいります。平成 26 年度における主な事業計画は以下のとおりです。

(1) 技術研究活動

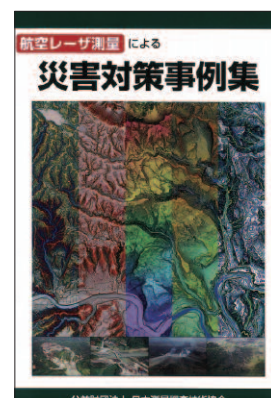
- 技術委員会及び技術部会を中心に、先端測量技術による高精度かつ効率的計測手法の実用化にむけた調査研究や新技術の実証実験・精度検証、測量技術・事業の将来展望等の自主研究活動に取り組む。
- 技術委員会・技術部会活動には、若手技術者の参加を呼び掛け、多様な経験と研鑽の機会を提供する。
- 外部委員会等に委員を派遣して規程・マニュアル案への意見、技術的な提言を行う。
- 特別な課題については、ワーキング・グループや研究会等を設けて取り組んでいく。
- 自主研究の他に、地理情報標準、航空レーザデータの活用、ハザードマップ整備、各種事例研究等の当協会の事業目的に合った受託調査研究の確保を図る。

自主研究活動の主なテーマ

- ・ 航空レーザ測量、MMS、UAV 等の技術的課題と利活用に関する取り組み
- ・ GNSS 測量、QBIC 等の技術的課題と利活用に関する取り組み
- ・ 三次元データの作成及び GIS の利用と未来像
- ・ 防災・減災、インフラ維持管理に役立つ先端測量技術

(2) 技術普及活動

- 第 36 回測量調査技術発表会を開催して技術発表の機会と特別講演、技術部会・WG 報告による技術の普及活動を行う。
- 第 5 回日韓レーザ計測シンポジウムを開催する。
- G 空間 EXPO2014 において、測量 4 団体による地理空間情報フォーラムを開催する。また、当協会の講習会も開催する。
- 機関誌「先端測量技術」、技術部会・WG 活動レポート、図書出版や Web サイトによる情報発信による技術の普及を行う。
- 開催する行事については、非会員でも参加が可能な運営を行う。
- 講習会等への参加者・講師、論文・図書執筆、委員会活動等には、測量 CPD 学習プログラム認定申請を積極的に実施する。





第4回 日韓レーザ計測シンポジウム（日本科学未来館 November 16, 2013）

（3）地理情報の標準化活動

- ISO/TC211 国内審議団体として、地理情報の国際標準化活動に取り組んで行く。第38回（ドイツ・ベルリン市）、第39回（中国・深圳（シンセン）市）に向けた準備を行う。
- JIS 原案作成委員会を組織して国際標準の JIS 化活動を推進する。引き続き関係分科会の活動を行う。
- 地理情報標準の普及並びに知識・技能を有する技術者育成のため、前年度に創設した地理情報標準資格認定制度（S-GI-Cert）をさらに推進する。
 - ・ 初級技術者：1日講習と試験（応募要件なし）
 - ・ 中級技術者：3日講習と試験（初級技術者+7年以上実務経験+資格）
 - ・ 上級技術者：記述と論文試験（中級技術者+10年以上実務経験+資格）

（4）測量成果検定事業

- 新たな人材を採用し体制の充実を図ると共に迅速で丁寧な検定の一層の推進を図る。
- 測量成果検定事業の拡大に努める。
- これまでの指摘事項を整理・分析して品質向上講習会等を昨年に引き続き開催し、会員の測量成果の品質向上を支援する。（東京・大阪で開催）



（5）緊急撮影対応及び大規模災害時の対応

- 緊急撮影等に関する協定及び訓練への対応
 - ・ 国土地理院（緊急撮影、緊急レーザ測量の協定）
 - ・ 東北・近畿地方整備局（撮影・レーザ計測・衛星の協定）
 - ・ 国土技術政策総合研究所（衛星 SAR 協定）
- 大規模災害時における対応の課題、情報の提供、諸機関との連携等についての研究を進める。

（6）事業推進と地域交流活動

- 地区事業委員会を開催して、地域会員との情報交換・意見交換を行う。
- 新入会員を獲得する。
- 先端測量技術の紹介と地理空間情報の利活用を推進する資料を作成し、広報活動を行う。